

2018年度（平成30年度）

研究部門名 数学・情報数理学研究部門

講座名 確率・統計講座

教員名 内藤 貫太

電子メール naito 理 math.s.chiba-u.ac.jp

(1) 研究論文などのリスト（印刷中を含む）

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文のDOI(付与されている場合)
(1)	内藤貫太 (分担翻訳)	・分布の近似 ・ノンパラメトリック 密度推定 ・ノンパラメトリック 回帰:カーネルとス プラインによる	統計科学百科事 典(鎌倉稔成・西 郷浩編集; International Encyclopedia of Statistical Science の翻訳)			丸善出版 2018	
(2)	内藤貫太 (分担執筆)	ノンパラメトリック平 滑化	医学統計学ハン ドブック(丹後俊 郎・松井茂之編)			朝倉書店 2018	
(3)	<u>Kanta Naito</u> , Shouta Shimizu, Jun Udagawa and Hiroki Otani	The LMSR method for providing a multidimensional understanding of growth standard in human fetuses	Statistical Methods in Medical Research	27	pp.2809-2833	2018	
(4)	Spiro Penev and <u>Kanta Naito</u>	Locally robust methods and near-parametric asymptotics	Journal of Multivariate Analysis	167	pp.395-417	2018	

(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数

- ・卒業研究 4名
- ・大学院修士 0名
- ・大学院博士 0名

(3) 教育業績 (自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など)

担当授業

統計学 B2(1) (普遍科目 医学部 1 年)

統計学 B2(4) (普遍科目 理学部数学・情報数理学科 2 年)

数理統計学 (専門科目 理学部数学・情報数理学科 3 年)

計算機統計学 I (大学院融合理工学府)

(4) 国際会議出席と招待リスト

The 5th Institute of Mathematical Statistics Asia Pacific Rim Meeting (IMS-APRM 2018)

シンガポール 2018 年 6 月 26 日 - 29 日

Regression with stagewise minimization on risk function

(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等 (報道媒体, 報道年月日, 報道内容等)

なし

(6) 国際並びに国内学会での受賞 (賞名, その内容, 受賞理由等)

なし

(7) 国際共同研究 (共同研究名, 研究内容等)

所属	職名	氏名	共同研究名	研究内容	年度
オーストラリア 数理科学研究所	准教授	Inge Koch	高次元パターン認識	新たな高次元パターン認識 手法の開発とその理論的精 度評価	30

(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など

- ・ Annals of the Institute of Statistical Mathematics, Associate Editor
- ・ Journal of Korean Statistical Society, Associate Editor

(9) 特許 (発明者名, 発明の名称, 出願日, 出願番号, 整理番号等) (現時点で公表できるもののみ)

なし

(10) その他

なし